

回覧

## 元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>

## 生涯学習月2回ペースの開催

## 「土曜日・町民センター」定着へ

4月から始めた生涯学習講座の「毎月2回開催」が定着してきた。開催日、開催場所も「土曜日、町民センター」が定型になりつつあり、各回とも町中心部からの出席が目立っている。生涯学習部会（山本正博部会長）では、「今年度内はこのペースを維持する見通しがついた」としており、テーマ設定や開催頻度、参加費などを含め来年度に向けた検討を始める。



地域再生協議会を継承したゲンコミでは、生涯学習の推進を初年度の最重点事業と位置付けている。11月までの8か月間の開催は19回。8月は1回だったものの、10、11月は散策イベントを入れると各3回になった。会場も駐車場が利用しやすい町民センターを使っている。抽選手続きなどがあるとはいえ、会場の規模（定員50名）やアクセス上の優位さから受講者には好評だ。

この間、最も多かった回の参加者数は60名で、途中で応募を締め切った。時には20名を切ることもあるが、総じて30-40名が多い。歴史や自然、健康がらみのテーマが多いせいか、比較的高年齢層が目立つ。アンケートから見ると、「初めての参加」がほぼ半数を占める。スマホ講座のように応募者が定員の3倍になり、2度目の公募を見送ったりする例も出ている。

ただ、唯一の収入源である参加費を300円/人とし、講師謝礼、会場費、資料代などの経費もあってほとんどの場合が赤字になっている。二宮町の地域生涯学習振興補助事業の仕組みを活用して乗り切る予定だが、一方では参加費の再検討が必要との声が出ている。部会では、この間収集したアンケートなどを詳しく分析しつつ、来年度の事業計画の検討に入る。

## お試し移住 町外から8家族

空き家対策部会（廣上正市部会長）が手がけるお試し移住事業も順調だ。今年度は大磯町の海鈴大磯（富山昇代表）との連携が進んでおり、両町で合計8家族がそれぞれ2泊3日居住し、関係者と交流する。応募に際しては、移住後の事業・生活プランの提出を求めたため、町外からの申し込み数は例年に比べ減ったが、より熱心な移住希望ファミリーに絞り込めた。

事業実施は二宮が10-12月、大磯が11-R5年1月。二宮では来年1月14日（土）、大磯は同22日（日）に参加者事業プランのマッチング交流会を開く。3年目を迎えるお試し移住事業の中でも初めての試みで、商工会や商店街、コミュニティのキーパーソンとの交流の場を通じ移住実現につなげたい考えだ。